

## 講演会・全体会午前の部

**司会者(ak)** ただ今より、講演会ならびに全体会午前の部を行いたいと思います。午前の部の司会を担当させていただきます瀬戸中学校2年 ak, 松茂中学校1年 bm です。よろしくお願いいたします。

それでは、早速講演会に移りたいと思います。パネリストは、cfさん、ciさん。コーディネーターは森口健司さんです。どうぞ、よろしくお願いいたします。



**森口** おはようございます。本来なら、ここに吉成先生が立って話をさせて頂く予定だったんですけど、体調を崩されて急遽私が変わってやることになりました。冒頭に紹介した映像の最後に吉成先生が出てきましたが、この映像は、昨年、徳島市のPTA大会で中学生集会の取り組みを紹介するというので、2年前にパネリストを務めて頂いた中野伸二さんが作ってくれた映像です。

この中学生集会は、いろんな人に支えられて、29年めの夏、29回めの大会になります。本当のことを言うと、この大会は、吉成先生が立ち上げて29年間踏ん張り続けた大会です。本当は10数年前にこの大会は終わっているんです。2002年に同和対策に関する法律が切れて、思いのある教員が、主体的に自主的にやる会になって、本当に厳しい中で、今回も昨日から鳥取県の大山町

から来ていただいています。また、香川県の小豆島、三豊市からたくさんの皆さんに来ていただいています。多くの県外の仲間や徳島県下の中学生に支えられて、この大会が29年間続いてきました。来年は30回大会になります。それに向けて何とかという思いを吉成先生と共有しています。

人権教育は熱と光です。子どもたちの熱に、子どもたちの思いに、いっぱい力をもらいながらこの営みがずっと続いてきました。出会いつながってきた子どもたちに感謝しかありません。

今日、皆さんの写真撮影を担当させていただいている中野伸二さん、仲間の島藤託也さんが、中学生になった2人のお嬢さんとともに、彼らが中学3年だった1996年の夏、第1回大会を板野中学校を中心に実は、板野町の「ふれあいプラザ」で開催しましたが、それから29年めになります。その時、現在三豊市になっていますが、豊中中学校の生徒が来ていたような記憶があります。やっぱり、そういう仲間とのつながりの中で、人権教育というのが、語り合うというのがよろこびになってきました。

29年このパターンでやってきたんですけど、今年はパネリストは高校生2人です。この高校生には本当に驚きます。昨日も県外からの参加者も含めた交流の食事会があったんですが、やっぱり高校生のスピーチというのは心に迫ります。そういう2人の語りに今から出会ってもらいます。

この「人権を語り合う中学生交流集会」が半端ではないんです。その根底にあるのは板野中学校の全体学習でした。これは日本の国の道徳教育を変えていく、そういう取り組みをした学校です。この1996年のメンバーが中学生集会を立ち上げ、この29年の営みになってきました。主体的に自分の思いを語り合う仲間の絆というのは、本当に永遠です。今日も最後にみんなで写真を

撮りますが、その瞬間が心が熱くなって「ああ、また会いたいな」と、「また来年ね」「高校に行っても」という絆になっていきます。そんな1日になる。本当に素敵な集会である。その集会に関わっているということを皆さん誇りにしてほしいと思います。

最初に ci くんから語ってもらうんですけど、彼は入学してきた時私のクラスにいました。語り合いというのが松茂中学校に根付いていった時の生徒です。少人数の小学校から松茂中学校に入学してきた不安、自分の個性に対する不安、いろんな思いを語っています。ちょっと気恥ずかしい中学1年の時の姿が今から出てきます。本当に微笑ましい入学したばかりの4月の語りです。その映像を今から見てやってください。そして、その後には彼に語ってもらいます。中学1年の姿と高校1年の姿です。では映像を流します。

### 〈ciの映像〉

ボクの母校・長原小学校は、今、全校児童が10人しかいません。しかも(今年度は)入学する子が1人もいないという状態です。そんな小学校にもいいところがたくさんあります。みんな仲が良くて、お互いの個性も理解し合っています。

でも、中学校に来ると、知らない子たちがたくさんいました。ボクは友達ができるかとても心配でした。心配な理由はいろいろありますが、一番心配なことだったのは、ボクの個性についてです。

ボクは吃音という個性をもっています。吃音を皆さん知っていますか。知りませんか？ではちょっと説明します。吃音っていうのは、初めの言葉が詰まったり、言い出しにくかったりすることです。子どもは30人に1人、大人は100人に1人が今ももっているということです。アメリカのバイデン大統領も、子どもの頃は吃音をもっていた

らしいです。そんな吃音をもっているボクなんですけど、友達と話をするのがとても好きで、いつも話をしていました。

ボクは中学校で生活する3年間は、人生の分かれ道だと思っています。高校に進学する人もいるし、社会に出る人もいます。ボクは高校に進学したいと思っています。でも、高校に行くのは、勉強だけでは入学できません。高校には面接という科目があります。ボクのお姉ちゃんは、去年高校の受験を受けて、頭は普通だったんですけど、面接でいい評価をもらえたらしくて、それで合格できたと言っていました。

でも、吃音の直し方は、まだわかっていません。一つの説で、人と会話したら少しは良くなるという説がありました。長原小学校は人数が少ないので、人と会話することが多くはなかったと思います。だから、ボクは中学校でたくさん友達をつくって、吃音という個性を克服できたらいいなと思いました。ありがとうございました。



彼が3年生のとき生徒会の会長で、そのときに書いた「僕の夢」という作文が県のコンクール、法務省のコンクールで賞を取りました。この作文は松茂中学校の宝物になっていて、今年の松茂中学校の1年生は、その「僕の夢」という作文を題材にした授業を受けて、見事な人権作文を書いています。かなり持ち上げましたので、今から ci くん譲ります。

**ci** こんにちは。**ci** と言います。古い動画が流れて冷や汗が流れたんですけど、皆さん、今日は短い時間ですがよろしくお願ひします。

まず初めに、少し自己紹介をしたいと思ひます。(パワーポイントを使いながら)ボクは鳴門渦潮高校1年の **ci** と申します。部活は剣道部に入っています。最近の趣味は、睡眠、食事、ゲームです。今後の目標は、健康に生きれるということです。少しですが私のことを知ってもらえたと思ひます。

それでは本題に入っていきたいと思ひます。まず皆さんに3つの質問をしたいと思ひます。

まず1つめ、皆さんはなぜ人権学習をしますか?少し難しい問題だと思ひます。少し頭の中で思い描いてみてください。周りの子と話し合ってもらっても構いません。どうぞどうぞ話し合ってみてください。

はい、会場で誰か言える人はいますか?はい、では真ん中の席前から2番めの人にマイクをお願いします。なぜあなたは人権学習をしますか?立って、学校名と名前を言ってからお願いします。



**松茂中学校1年(bm)** 松茂中学校1年の **bm** です。なぜ人権学習をするかという、あまりない機会だし、もし人権を知らない人がいたら、この先どうなるかわからないので、人権学習をしたいと思います。

**ci** ありがとうございます。では、あちらの人に。では、**ba** くん、あなたはなぜ人権学習をするのでしょうか。

**松茂中学校3年(ba)** ボクは、これからの人生を生きていく上で必要で、自分にとってプラスになる…なんて言うんだろう。生きていく上で必要なものなので人権学習を続けています。



**ci** ありがとうございました。では、後ろの方の **cj** くん。あなたはなぜ人権学習をしていますか?



**鳴門渦潮高校1年(cj)** 繰り返さないためです。例えの話をするならば、広島と長崎で原爆が落とされました。その時に死者が多く出たじゃないですか。それと同じで、人権問題も死人とかが出てしまうとか、人が傷ついてしまうということがあるかもしれないじゃないですか。だから、ボクはそういう歴史を繰り返さないために、こういう人権学習を後世に残していけたらいいと思

い、人権学習をします。ありがとうございます。

ci ありがとうございます。では、最後に人権マスターにちょっと聞いてみようと思います。森口先生はなぜ人権学習をしますか？

森口 私は、人権学習は生きる糧です。43年めを迎えていますけど、この誇りうる43年間は、よろこびの43年間は人権学習のおかげです。みんなとのつながりです。皆さんとの関係です。よろこびです。

ci ありがとうございます。いい意見が出てうれしいです。では、2つめの質問をしていきたいと思います。皆さんに結婚願望がありますか？ちょっとこれも話し合ってください。



はい、ありがとうございます。皆さん緊張しているから手を挙げて運動しましょう。はい、皆さん結婚願望がある人、手を挙げてください。結婚している人ももちろん手を挙げてくださいね。ビシッと真直ぐ上に手を挙げてくださいね。いいですねえ。それでは、「いいえ」の人。手を挙げてください。はい、ありがとうございます。半々くらいだと思います。

それでは最後の質問をします。皆さん、子どもが欲しいと思っていますか？結婚願望がないと答えた人もいいのでちょっと考

えてみてください。

はい、ありがとうございます。では、改めて質問します。皆さん、子どもが欲しいという人、手を挙げてください。はい、ありがとうございます。では、子どもはほらない。独身で生きていくという人、手を挙げてください。はい、ありがとうございます。これは、「ハイ」の方が多かったですね。

今日は、結婚差別については皆さん学んできたと思うので、優生保護法について話したいと思います。以前、吉成先生から話があったと思いますが、優生保護法について「知っていた」、「聞いたことがある」という人はいますか？あ、いますね。

知らない人もいると思うので説明します。優生保護法とは、1948年から1996年まで国が定めた法律です。「不良な子孫を残さない」ということや「母体保護」という観点から設置されていました。該当する国民は強制不妊手術や人工妊娠中絶の合法化などがされてきました。どういう国民が対象になったのかというと、精神障がい者、知的障がい者、神経障がい者、身体障がいを有する人、そして、ハンセン病患者などが対象となっていました。優生保護法というのは国が定めた法律なので、結構大きかったんですね。

皆さん今、結婚をしたいと言った人が結構いたと思います。子どもが欲しいと言った人が7割8割くらいいたと思います。今の皆さんは。安心して結婚できる。子どもがつかれるという状態にあります。一昔前には、それが難しい。誰しもがそういう状態ではなかったという現実があります。

今では、皆さん絶対に間違っていると言い切れますよね。「そんな法律は絶対に間違っている」と言い切れます。では、もしも日本中がそうなっていたら、こういう法律ができて、みんながそういう認識になっていたら、皆さん、声を上げることができま

すか？一昔前までは、それが普通、常識と、ほぼほぼすべての人が信じて疑いませんでした。もしも、おかしいなと思う人がいても、なかなか声を上げることができなかつたと思います。

私の話の冒頭に、「なぜ人権学習をしますか」という質問をしました。「人生の糧」という意見も出ましたけど、ボクはこう思います。人権学習をするのは、今という時代に疑問を持つためです。そして、それを「これはおかしいぞ」って、「こんなきまりは間違っている」って言えるという考え方とか、気持ちをつくるためにあるのではないかと思います。



そして、高校生のcjくんから出たように、昔の過ちをこれから繰り返さないために、そして、国単位じゃなくて、一人一人が「昔こんな悪いことをしたな」という思いのある人もいます。そういう人たちも、これから人間同士として、「これは間違っている」って思ってこれからは繋げていけるように、人権学習をしているんだとボクは思います。これからの時代をみんなが、もっと笑顔で楽しく過ごして生きるために、もっともっと皆さんで人権学習にのめり込んで楽しく人権学習をしていきましょう。あまり長く話せませんでしたけど、皆さん、ボクの話聞いてくださりありがとうございました。

**森口** ありがとうございます。この後 cf くんにご話をしてもらおうんですけど、吉成先生の代わりに、昨日今日と cf くんのお送迎をさせてもらいました。本当に幸せな時間でした。吉成先生には悪いんだけど、車の中でいろいろ話をさせてもらいました。まあ、本当に心が熱くなります。そういう力をくれます。

2019年に「T-over 人権教育研究所」「人権こども塾」を吉成先生が立ち上げました。まさしく、この人権こども塾の申し子が彼です。本当にそうです。これは間違いないです。昨年11月5日に人権こども塾文化祭をこの2人が仕切ってくれたんです。これは見事です。ホームページに記録が入っていますので、皆さん、是非読んでみてください。すごい語りです。そこに集まった仲間の思いを引き出していきます。(映像を示しながら)これがその時のチラシです。本当に素晴らしい時間になりました。cf くんのご語り、そして、ci くんのご語り。2人がずっとリードしてくれました。

昨年度、徳島新聞に cf くんとお母さん2人の新聞記事が出ました。徳島の人はかなり見ていると思います。この新聞記事に関わって、自らをさらけ出す。自己を語る。そのことが多くの人々の心を揺さぶり動かしていきます。それが徳島新聞の「こども鳴潮」に書かれました。見事な文章です。そして、この文章を見つけ出して、読んで、私の学校の生徒が生活ノートに書いてくるんです。今から彼自身の思いがあふれていきますのでしっかり聞いてください。ちょっと用意をします。それでは、拍手をお願いします。

**cf** すごくはやし立てて頂いて、非常に恐縮でございます。cf でございます。今日はちょっと長い時間しゃべらせてもらおうと思います。飲み物を飲んだりお菓子を食べな

がら話を聞いてもらえたらなと思います。  
楽に行きましょう。

私のお話のテーマといたしましては、「将来の夢への原動力」サブタイトルとして「中学校不登校だった私が伝えたいこと」。こんなタイトルでしゃべらせてもらいたいなと思っています。

本日のメニューとしては、1つめが自己紹介。2つめがボクが将来の夢が大事だとよく発言しよるんですけど、それがなぜ大事なのか。そして、なぜボクがこれにこだわるのかということをお話しさせていただきます。3つめがそれが人権活動と何が関りがあるのかということと、4つめがじゃあ、その話を誰かとしようということとまとめということをお話しさせていただきますと思っています。下の方に小さくポイントを入れさせてもらっているんですけど、「肩の力を抜いて、お菓子でも食べながらゆる〜く学びましょう」。ボクの体験とか考え方の話なので、あまり堅苦しく考えずにといいことです。あと、目標が「ボクの話や皆さんの将来の夢を通して、世界をどれだけ楽しんでいくか」。という話をできればうれしいかなと思います。



じゃあ、自己紹介します。cf です。徳島科学技術高校の海洋総合コースというところにいます。人権委員長や、ヒューマンライツ部副部長とか、あとよくわからんゲームのチームリーダーをさせてもらっていま

す。その下にも挙げているんですが、八万中学校時代なんですけど、不登校で学校へほぼ行けなかったんですね。中学校1年生の最初、5月とかから3年生に入ってもほとんど行かんかったんですよ。そんな感じでした。現在は、将来の夢の大切さなどを話す活動をさせてもらっているつもりです。趣味は、ゲームをしたり、音楽鑑賞をしたり水族館巡りしたり、超ハマりなんですよ。

画面一番下です。私の将来の夢は、誰かを支えたり、命のすばらしさを伝えられる水族館をつくることなんです。ここが今日一番お話ししたい大切なことです。なぜボクが将来の夢、将来の夢ってやいやい言うのかって言ったら、実は私、元不登校なんです。不登校になった理由というのは、学校へ行きたくなかったじゃあなくて、病気になったからなんです。「起立性調節障がい」という、朝起きれない、起きれないから昼夜逆転するみたいな。平たく言うなら、自律神経が弱ってしまっただけという。まあ、なかなかしんどかったんです。

学校へ行けない。小学校から中学校へあがったタイミングでなっちゃったので、友達が居らんようになってしまったんです。居らんようになったと言っても、関係が遮断されてしまったんですよ。関わりもなくなって、どんどん夜型になって。でも、ずっと一人だからゲームとかもやったり、いろんなことをやった時期があったんですよ。誰にでも起こりうるんですよ。この起立性障がいっていうのは、第二次性徴が起こるようなタイミングでなりやすい病気なんです。

最近、よく聞きますね。起立性障がいって。それで、中学校の最初の2年間は完全に学校へ行かなかったんです。人生何があるかわからないなと思いますよ。だってそうじゃないですか。みんな友達とワイワイ

やって、よし、中学校で頑張ろう！って言って、コロナがあったんですけど。それで、ボクはその病気のせいで血圧が下がるから、お風呂とか入ったら失神したりするんです。本当に何があるかわからないんです。人生って。そうしたら、私がそんなわけのわからない病気になって、しんどい状況になって、高校に行って何で頑張れるか。その理由は、仲間と将来の夢のおかげなんです。画面左上の写真は、さっき自己紹介で言っていたゲームのチームのメンバーです。不登校の時、ゲームしかできなくて、オンラインでチームつくってそこでやっていたんです。その仲間です。右下の写真が今のボクの仲間です。誰がどんな人生を送る上でも、「将来の夢」を持って生きて欲しいって、そう思うのは、こういうたくさんの仲間と出会ったり、水族館で白イルカなどの生き物と出会ったり、将来の夢を語り合ったりできる仲間と出会ったりする、その経験のおかげなんです。こういう人が居ったから、ボクは立ち直れたし、勇気をもらえたんです。

このボクと2人で写っているこの人。この人はすごいんです。今日本で一番ロケットを開発されている人。植松努さんっていう人で北海道大学で共同開発されている人です。水族館をつくりたいとか言っていますから。あんな、どないもこないもできなかった毎日から、引っ張り上げてくれた仲間がいたんです。そのおかげなんです。

ボクは夢を持つと3つのメリットがあると思っています。まず、コミュニケーションが増えるんです。だって、人が周りに居るんだもの。夢があったらその夢を誰かに教えたくならないですか。「こんな良いところがあるんやで」と。実は、最近のハマりはフジクジラっていうサメで。こいつ光るサメなんよなって話してたらコミュニケーションだんだん増えるわけです。

コミュニケーションが増えるということは、仲間が増えるということですから、すごくいいことだと思うんですね。次の「モチベーションの増加」というのは、ボクが学校に行って初めて泊りでボランティアをした時に、お祭りで買ってきたりんご飴がデカすぎて、食うのに難儀してすごい不機嫌な顔をしている時なんですけど、モチベーションは上がります。自分の夢に向かってしている。自分の好きなことをしている。こんな楽しいことってないんですよ。こんな面白いことがあったまるかと思うくらい面白い。しんどいはずがないって思うんです。



最後は、「世界が広がる」。だって、ボクは殻に閉じこもっていた中学校3年間があったけど、夢を持って、水族館へ行くようになって、いろいろな人と関わるようになった。「こんな面白いものが世界にあったん」と思いましたもの。さっき話した仲間の中に芸術大学に行った人がいるんですが、その人のおかげで、絵とか漫画とかが大好きになったし、そんな素晴らしいいろんな世界が今ここにあるわけです。ボクらは普段それに気づけないですよ。でも、世界が確実に広がるんです。

では、次に「人権活動と夢」ということですが、ここがボクが一番話したかったんです。夢が大事なのは分かった。でも、なぜこの人権活動が関係しているのか。なぜ

ボクがここで話をしているのか。それは、夢を追う時に大切なことがあるんです。これは、さっきの北海道でロケットをいっぱい飛ばしている人が教えてくれたことなんですけど、「自由」と「自分勝手」の違いを知ることって大事だねと言ってくれたんです。もちろんどっちも大事なんです。だって、ある程度自分勝手にしなかったら、しんどいと思うんです。やっぱり苦手な人とか、苦手な顧問とか、先生とか。1人や2人おるやん。そういう人のために振る舞うってしんどいよね。それって、やっぱり、自分勝手に「この人と合わんけん無理」っていうことも大事。

だから、「自由」と「自分勝手」って、「自分勝手」が悪く聞こえるけど、どっちも大事なんです結局。そして、違いなんですけど、「自分勝手」は、「やりたいことを他者を介さずに貫くこと」って書いているんですけど、まあ、どういうことかって言えば、他の人のことを考えずに自分のことをやるっていう、悪く聞こえるけど、「自分のことが大事だから自分の好きにやらせてくれ」っていうことも時には大事。そして、「自由」。これは、「他人の自由を尊重しながら自分の自由を貫くこと」。これは、他人がしたいこととか自由にしたいこととかを守ってあげる。その代わり、ボクも自由。それがいいと思うんです。それが夢を追う中では大事だと思うんです。



いろいろな意見が違う場合はあるんです。ボクだって「水族館をつくりたい」って科学技術高校に入って、「マリンリサーチクラブ」っていう生き物を扱う部に入ったけど、生き物を粗末に扱ってしまう人もいるし、やっぱり人と関わって夢を追う上で、他人との関わりは大事なんです。この2つのことはある程度大事なんです。

続いて、人権活動というのは、自由を守る活動なんです。そうやと思う。さっき、ciさんが「なぜ人権活動をするのか」っていうことを言ってくれたんですが、多分、みんないろんな人権への思いがあると思うし良いことやと思うし、それもすごく大事なんやけど、ボクの人権活動とは、「自由」を守ることなんです。他人も自分も。だって、自分の人権が侵害されたらむかつくやん。だけど、他人の人権を侵害するのは絶対違う。お互いが自由であるということは大前提やと思うんです。だからこそ、みんなは自由に話していいし、ボクだって自由に話すし、みんなが自由に聞いてもいいし、何をしたらいいと思う。だけど、「自由」と「自分勝手」の違いは分かって欲しい。大切な自由を自分も他人もなくさないようにすること。そこを考えながらやれるといいなと思います。大変なことも誰かと分かち合えるようにすること。これこそが真の人権学習だとボクは思っています。

その次に大事なものは、「みんなと語ろうの会」というネーミングを付けていますが、私たちが自由を求めるためには、コミュニケーションが大前提。そうじゃないですか。だって、語らないことには相手のことがわからないですよ。語ったことのない相手に、私の自由を侵害されたととられても、私は知らんってなるでしょう。逆に、お前のことを知らんかったと言えるようになればいいんよ。だろう？知っていればいいんです。その人のことを。「ごめん、知らんか

ったけどお前のこと教えてくれん？」それが言える関係じゃないですか。話さないことには何も伝わらない。相手のことを知って自分のことも伝える。これがいいと思う。ボクは。だってそうやん。そうだと思う。ボクは。

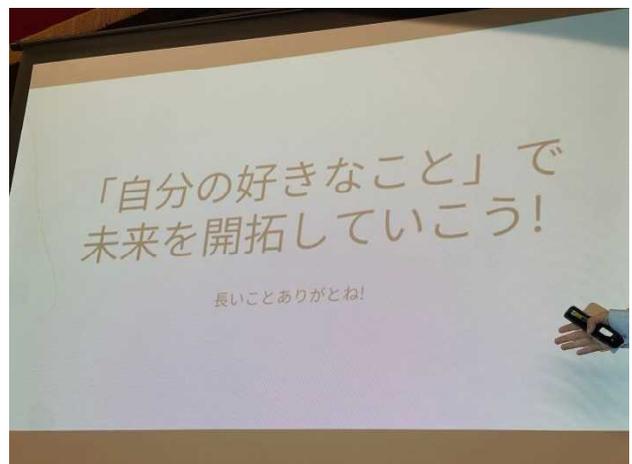
そして、ボクが思うコミュニケーションをとるコツがあるんです。いろいろあるけど、大切なのは他人へのリスペクトだと思うんです。この横に4つ書いているけど、この4つが全部じゃないです。十人十色どころか、百人百色位コミュニケーションの取り方はあると思います。いろんな人の表現方法があるから、それは多様に考えてあげなあかんと思う。でも、ボク的に大事なものはリスペクトなんです。他人のことに敬意を持つっていうのはオーバーな気もするけど、ある程度は敬意を持つことがとても大事だと思います。リスペクトするっていうのは相手と対等で、見下すことはないけど、見下していたら話し合いをする上で対等ではないんですね。目上過ぎても、話して通じづらい。例えば、すごく年の離れている先生とかも、お互いにリスペクトし合って対等な立場なら話せるのがやっぱりコミュニケーションで大事な気がしない？みんながフラットに話せるってすごく素敵やと思うんです。

次が、好きなことが話せる。何でもいいです。ゲームでも、アニメでも、スポーツでもいいし、本でもいい。本当に何でもいいよ。ボクは好きなことを話す。なぜかっていったら、お互いのことを知ることができる。例えば、「お前このゲーム好きなの？俺もこのゲーム好きなのよ」。「このゲームのあのBGMが好きなんよ」とか。先生と話していても、「このアニメ良かった」と言った時に、先生がそのアニメを見とったらわかる。平野先生、『無職先生』いいですよ。ね。（『無職先生』！）という感じです。こ

ういうフラット感ってすごく大事だと思うんです。

あと、楽しく。楽しいことをしましょう。楽しいって正義です。だって、楽しかったら何でもできるもん。そして、無理はしたらあかん。だって、世界は広い。70億人おるんです。70億分の1っていうことは絶対ないやん。合わん人っていうのも必ず居るやん。こっちからコミュニケーション取りに行くと、こっちだけ疲れるって、それってフラットじゃない。対等じゃない。無理する必要はないから余裕をもってマイペースで行こう。

ボクはそんな感じで、この4つくらいでコミュニケーション取れると思っているけど、これだけじゃないからね。十人十色70億人分の70億くらいあるから、このコミュニケーションの取り方っていうのは。まとめます。つたない話を聞いてくれてありがとうございます。ボクの言いたいことはこの画面に出していることです。



「自分の好きなこと(自分の将来の夢でも)で未来を開拓していこう」これだけです。自分の好きなこと、好きなもの、自分の素敵だと思うこと、何でもいい。おもしろいと思うものなんだからいい。自分の素敵なものを大事にして、そのことのために頑張ってみて欲しい。

ボクは不登校だったんですけど、この不登校を何とかしたい。水族館をつくりたい

んですって面接で言ったんです。「海洋のことは私は何も知りません。中学校の時、1回も行っていない。テストも受けていません。でも、受験勉強必死でした。なぜなら、私は水族館が造りたいからです。知識を知りません。だからここで学ばせてください。」そう、面接で言ったんです。そのくらい言えるんです。自分の好きなことってそのくらい強いんです。ほんまに強みになるから。長いことありがとうございます。終わりです。

**森口** ありがとうございます。私の隣に居ってしゃべりたくてうずうずしています。ちょっと ci くんにはしゃべってもらって、そちらへマイクを回します。多分会場へマイクが回ったら帰って来ないと思いますから。

**ci** さすが人権の申し子。いい意見でした。このあと、皆さんが手を挙げて発表していく時間になると思うんですけど、やっぱり緊張しますよね。俺も今緊張しています。その時に、ボクは1回めは勇気を出して誰か発表してほしいんです。ボクが話す時にも目標というか、1つめ、シンプルに。2つめ、考え過ぎず。3つめ、自分の気持ちをそのまま伝える。この3つをちょっと心がけるだけで、なんか話したいことがスッと出てくるということが、多分、この後のみんなの意見を聞いている中に出てくると思います。その時に初めは勇気があるかもしれない。でも、こんな機会はめったにないので、できるだけ1回は手を挙げて発表してほしいなと思います。

では、まずボクが。2分くらい私の話を聞いてもらって。先輩が自分の夢について話してくれたんですが、皆さんにも夢があると思います。夢があるっていう人。わあ、夢だらけ。いいですねえ。じゃあ、ボクの夢なんですけど、ボクにはすごい夢があっ

て、これは幼稚園の頃から変わってない夢なんですけど。ボクが世界一になるっていう夢なんですけど。何の夢かって言ったら、料理で世界一になりたいと思っています。ボクのお父さんがお店を経営していて、お父さんの仕事場とか見ている、格好いいんですよ。すごく格好いいんです。で、ボクは将来絶対に世界一になります。その位の気持ちで今生活しています。



夢はそれだけじゃなくて、ボクの夢はもう一個だけあって、死ぬまで人権学習をするという夢があるんです。なぜかって言ったら、まず人権学習って楽しいんです。すごい楽しいんですよ。今、ちょっとだるいなあって思っている子ね、いないと思いますけど、正直、ボクは森口先生に引っ張られてきました。やっぱり、みんなの意見を聞いていたり、自分が発表していく中で、「これってなんか気持ちいいぞ」って。「これ、発表するって楽しいぞ」って思っていると思います。そのためにも皆さん、緊張すると思います。でも、1回は勇気を出して手を挙げて発表して欲しいなと思います。皆さん、今日頑張りましょう。ありがとうございました。

**森口** ドキドキしながら手を挙げて、指名されて頭が真っ白になって、必死で言葉を絞り出していく。語った瞬間、身体が熱くなって、なんかよろこびがあふれてくる。そ

んな感動をみんなで共有できたらなと思います。じゃあ、進行の2人にマイクを回します。あと30分間、みんなで楽しい時間をつくりましょう。じゃあ、マイクを返します。

**司会者(ak)** どうもありがとうございました。もうすでに感想や意見交換が、ci先輩のせいで始まっていますが、残りの時間、感想や質問、意見交換を深めていきたいと思います。

マイク係として、松茂中学校1年bnさん、瀬戸中学校2年aiさんの2人がフロアをまわります。もうすでに2人の先輩が私たちの仕事を奪ってしまったのですが、改めて、記録の関係上、発表者は団体名、学年、名前を言ってから発表してください。それでは、よろしくお願いします。

**松茂中学校3年(bc)** cf先輩なんですけど、自分の好きなアニメの中の好きな人についてしゃべりたいと思います。cf先輩は、「Re.ゼロ」っていうアニメを知っていますか？（「もちろん」）「Re.ゼロ」の中の青髪のメイドの「レム」っていう子を知っていますか？（「もちろん、もちろん」）マジですか。その「Re.ゼロ」の中の「レム」が言った名言の中で、ボク自身で一番好きなのが、「イチから始めるんじゃなくてゼロから始めましょう」というシーンで、あのシーンがボクにとってはマジ好きで、cf先輩から見たらあのシーンはどう思いましたか？

**cf** あのね、ボクは人生の中で、1回多分ゼロイチを経験している人間なんです。全部なくなってそこからとりあえずイチをつくるためにもがきまくった人生やから、なんか、わかるんよね。

アニメを知らん方に説明すると、主人公のナツキ・スバルっていう人間が頑張るん

です。頑張るわけがあるんです。いろんなことがあるわけです。頑張って頑張ってもダメで。でも、ダメになってどうしようってなっているどん底の時に、ヒロインのレムが言ってくれる言葉なんです。これねえ、良いと思うんですよ。

別に無理して焦らなくていいんです。今あるものが全てじゃない。今持っている人生が全てだと思ったら大間違いなんです。やったことのないこととか、今まで見て来なかった世界とか、絶対どこかにあるんです。例えば、ボク今まで絵を描いてこなかった。ギターを弾いたことない。その時に、ふと思ったり、これやった方がいいなとか、やってみようって思ったら、とりあえず手を出してみるんです。ボクそれでギター少しできるようになったり、映画に5回も行っただけ5000円かかったりしてるんですけど、でも、そういう挑戦って、人生においていろんな発見があるんです。今まで見て来なかったものやってみようということ、そういうゼロイチは絶対にいいと思うんです。



**松茂中学校3年(bc)** ボクの言いたいことの大半がcf先輩に言われましたけど、ボクが言いたかったことは、イチからするんじゃなくてゼロから。面倒くさいことはイチから始めていたら、面倒くさくなってしまっただけで、途中で折れて、イチから進めていくくらいなら、全部捨ててしまっただけで、ゼロから

初めて自分の好きなことや自分のやりたいことをやっていくのがいいなあと思って。

ボクは、cf先輩の意見を聞いて、ボク自身、アニメを知っていてくれたこともうれしいし、ボクのいちばん好きな名シーンで共感してくれることもうれしいです。ボクがゼロから始めるとしたら、ゲームのことになるんですけど、1回、本当にゲームのことで嫌なことがあって、そのゲームをマジでやめて、今もう1回やり直そうと思っているけど、ちょっと悩んでいるところなんですけど、cf先輩の意見を聞いて、ボクはとても共感できるし、有り難い時間だったなあって思ったので、ありがとうございました。

**鳴門渦潮高校 1年(cj)** 今発言してくれた bc の兄の cj で、鳴門渦潮高校から来ました。さっき、bc が自分の好きだったものが嫌いになったって言っていたじゃないですか。その理由としては、ボクも関わっているんですよ。そのゲームで、ボクが cf先輩のようにリーダーとして活動しているクラブ的なのがあって、その中で、ボクは今年高校1年生になって、右も左もわからない、先輩とかとの上下関係もわからない状態で、元リーダーから聞き取ったっていう形でそのクラブを持っていたんです。何もわからない、進め方もわからないっていう状態でイチからやったんです。そのイチからやっていたことを、クラブの先輩的な存在の人たち、ボクよりめっちゃ知っとるみたいな人たちに指摘されたり、仲間のことを大切にしろとかどうだのこうだの言われたんです。

でも、ボク自身は、それを言われても赤の他人なんです。仲間のことなんてよくわからないじゃないですか。その人の事情なんてよく分からないんです。特に、クラブの中だったらしゃべらない人もいるわけ

ですよ。その人を大切にしようと言われても、ボクの中だったら、その人をどう大切にしよう、どう関わろうっていう状況に陥ったわけです。

その時に、ボクがとりあえずやろうということで、そのゲームの大会的なものを主催したわけです。その大会で主催して、ボクとか弟とかがリーダー的に進めたんです。副リーダーっていう子が居ったので、その子らと進めたんですよ。けど、その中で普通に言うならば、そこでみんなが楽しくできるっていうゲームと、できないっていうゲームがあるじゃないですか。例を挙げるなら、RPG系のゲームだったら、みんなが進めやすく、みんなが協力したプレーみたいな。でも違うんです。ボクがやっていたゲームは。そのゲームは人と人を殴り合ったり殺し合ったりするっていうゲームだったので、進め方っていうのが暴言とか飛び交うわけです。だから、ボク的にはそういうことをあまり言って欲しくなかったんですけど、関わり方としてはアリかなと思っていたんですよ。



けど、今回の話とかを聞いて、ゲームでも言葉の使い方とか、進捗とかっていうのを考え直して作ってあげたらなとボクは思いました。けど、1つ疑問になったのが、やっぱり cf先輩みたいに、ポテンシャルっていうんでしょうかね。人とのコミュニケーションを取れるっていうのがボク的には

あまりできないんですよ。こうしてみんなの前でしゃべっていますけど、人と一対一になった時のコミュニケーションっていうのがあまり得意じゃないんですよ。ボク的には。何て言うんでしょうね。団体での1人での発表は得意なんです。一対一で話す時だったら、マジで言葉につまる時の方が多いで、リーダーとして直そうとしていたんです。でも、ボク的には、好きなことでみんなと仲良くしているのに、ボクがこうならなあかんあとか、こうなって欲しいなあとか思っているけど、伝えにくいというか。わかります？みんなが夢に向かってできると思って今進んでいるじゃないですか。それは良いことなんです。でも、ボクの中ではその進むべききっかけになることがあまりないんです。もし、ボクが辺境の地に1人居ったとして、そこで物語をつくっていくとなったら何をしますか？と言われてたら、何も作れないと思うんですよ。物語をつくるにも、何もなかった状態でプランを立ち上げてしまって、それを受け渡されたボクから、そういうプランを支持できたcf先輩に1つ質問です。

この人権学習というものを1人めっちゃ知ってる状態で、辺境の地で人が殺されている地域で、人権というものを1人で語れる自信とか、戦争をやめさせられますか？という質問です。



cf はっきり言って無理です。ボクにそんな

力はありません。戦争ってね、そもそも殺し合いたいがためにやっているんじゃないんですよ。彼らは。戦争って。食料が足りないとか、領土が足りない。領土だったらまだいい方ですよ。宗教やいろんな信念に基づいて起こっている。ましてやそういう所にほっぽり出されて、たかが一般市民がわめいたところで、国全体の思いにとっては私には到底できない。けど、だからと言って何もしないわけじゃない。自分の手の届く範囲しかボクは助けられん。それはどんな人でもそうだと思う。でも、手の届く範囲に声をかけられる人が居るとか、ちょっと日本語のわかりやすい人が居るとか。例えば、日本語のわかりやすい人に会ったら、そっちの言語を教えてくださいと言に行ったり、音楽と一緒に歌に行ったり、「郷に入っては郷に従え」というけど、そんな感じでいったらいいんじゃないかな。とにかく何をしたらいいかわからないと思うんですよ。でも、そういう時は全部やった方がいい。1回やってみて、ダメだったら手を放していい。やってみるとするのが大事よ。と思います。

**鳴門渦潮高校 1年(cj)** さっき、全て捨てて投げ出してもいいって先輩が言われたじゃないですか。それはもうやめたんですよ。それは当時ボクが取った方法なんですよ。そのまんま。その後のとった行動なんですよ。もう1カ月以上前の話になるんですけど、その当時とった方法なんですよ。けど、ボク的には考えもありで、ボク的には、こういう人権集会で、「もし」って考えることが多いんです。「もし、こういう事件があったらどうするか」「もし、こういうことがあったらどうするか」こういうことを、こういう人権で語り合えたらボク的にはうれしくて、だから、ボクはここに立っているんだと思います。

今さっき、最初の時にボクが、広島と長崎に原爆が落ちて、それを繰り返さないために人権をとか言ったじゃないですか。それじゃなくて、単にこういうことがあったらという例を出したじゃないですか。例があって、「もしも」のことを考えての人権だと思っているんですよ。ボクは。みんな考え方は違いますよ。一人一人絶対違いますよ。こういうことがあったらあかんけん、「人生だから」とか先生方や先輩が言った通りに、意見は違うじゃないですか。でも、それをひっくるめて、この人権集会をやるというのがボクの人権集会なんですよ。まあ言うならば、この人権集会でみんなが話し合ったことを後世に残していけたらなという感じなんです。ボク的にはこの話を聞いて家に帰ってじっくり考えてみたいと思います。ありがとうございました。

**瀬戸中学校 3年 (af)** 中1とかの時に、私が何もできなくて、何もなくて、将来の夢もなくて。だから、みんなが手を挙げている中、私だけ夢が無かったり、結婚願望とかもなくて、何もなくて。もう中1の時に、中学1年の終わりくらいでやめてしまいたいって思うことが多かったんですけど、でも、今日の話聞いて、夢に出会えたこととかを聞いて、私ももしかしたらあるかもしれないって思えたし、今日、この集会に参加させてもらって、私が多分、みんなと言うちょっと苦手だなっていう部類に入ること自体が多かったのが不安だったんですけど。でも、…もしかしたら、これから夢とかそういうのに出会えるかもしれないって思えたし、さっきの「Re.ゼロ」の話でも、私はレムが大好きなんですけど、ずいぶん前にそれを見たんですけど、「ゼロから」っていうのがすごくいいなって思ったし。さっきの ci 先輩の人権学習を何ですのかっていうので、私の最終的な答えは、人と

関わるのが下手なんですけど、だったらと思ってきたのもそうなんですけど。だから、cf 先輩が言った通り、人生はすごい夢だらけなんだなあって思えたし、私自身も、今は何もなくてすごい悲しいんですけど、でも、これから見つけていけたらいいなと思いました。ありがとうございました。



**cf** いいですか？ボクも当時思っていたんよ。ゲームする人も居った。仲間も居った。助けてくれる人も居った。親も居った。でも、何もないと思っとった。ボクも。だって夢を見つけたのも中学校2年の中盤、後半でさ、もう受験期が迫るとのに学校も行ってない。ゲームもさほど上手くはない。もっと上手い子がいるから。人付き合いも学校も行ってないし家にいたから。言葉も上手くなくて、何ができるんやってずっと思っとった。でも、気づいてないだけで、あなた自分の左を見てくださいよ。友達が居るやん。いいよ。それ。友達が居ったらさ、例えば友達からいろんなアニメを教えてもらったりするやん。ボクが水族館好きになった理由って実はそこなんよ。友達からアニメを教えてもらってさ。「白い砂のアクアトープ」っていう。そのアニメが水族館がテーマでさ。おお何や、水族館最近そういえば行ってないな、おもしろいかもしれん、行くかって行ったのが始まりなんよ。

友達が居るって強いんよ。ほんまに。確かに、今自分では「何もない」とかって思

うかもしれんけど、でも、あるよ。きっと。人生100年。1回っきりの長い人生でさ、この世の中にはいろんなものがあるよ。しかもいい友達が横に居る。何も無いことはないと思うよ。いけるよ。大丈夫。

**瀬戸中学校 3年 (af)** そのアニメ、ちょっとだけ見て水族館へ行きました。（「まじで？いいよな」）



**松茂中学校 3年 (ba)** ボクは、cfさんとciさんはもう、1年から知っていて、2人とも尊敬していて本当にすごいと思います。

ボクにも将来の夢があって、それに向けて頑張っているんですけど、ボクって、あきらめが早いっていうか、この3年間挑戦はしてきたけどすぐあきらめて、何て言うんだらう。この3年間の中で1つでも成長したことがなくて、そのような気がしてなんかずっと悩んでいて。

挑戦はしたけど何も得られなかったみたいな感じで、この3年をなんか無駄にしてきたかなって思って辛いんですけど、…でも、あの…人権交流集会とか、人権こども塾に行って、ポジティブに考えるとか、そういうもの学んで、…ボクは、成長しているところは少なかったけど、いろんなも

のに触れて知れることは多かったと思います。

だから、そのワンランク上の「行動する」っていうことを目指して、それで、粘り強くあきらめないで行けたらなって、さっき話を聞いて思いました。ありがとうございました。

**ci ba** が、3年間何もなかったって言ったけど、そんなことはないで。挑戦したんですよ。挑戦して来なかったら、もしかしたら、baはこの人権交流集会に参加してないかもしれないし、こうやってみんなの話を聞いたり、みんなに自分の話を聞いてもらったりはなかったかもしれないし、挑戦があったからこそ俺とのつながりもできたし、先輩ともつながっていったし。ボクは、baが初めて人権交流集会に来た時から、baはめっちゃいいやつだな。こいつはすごいなってずっと思っていました。すごい自分の意見を素直に言えて、なんか逸材やなと思っていました。baはこれからはずっと挑戦していくと思う。行動に移していくと思う。それがいい結果になっても悪い結果になっても、それは自分の心に何も残らないわけじゃない。何かこれからのbaの糧になるとボクは思います。なので、これからは挑戦し続けて前向いて欲しいって思いました。

**cf ba**, 覚えてる？ボクが初めて人権のここに来た時にさ、作文読もうってなった時、「一緒に読まん？」って言ったの覚えてる？（「覚えています」）あれって挑戦やと思う。あのままだったら書かんかったって前に言ってくれたやん。でも、逆に言うたらな、書こうって言って書く人はなかなかおらんと思う。ボクが「書こうぜ」って言っても、「いや、ちょっと難しいかな」っていう子の方が多い。絶対。あなたはそうやって挑戦したきたんや。3年間知っとるけど、めっちゃ

やすごいと思うよ。ほんまに。

「意味のない挑戦になっちゃった」みたいに言ってたじゃない。挑戦に意味のないことは少なくともボクの17年間にはない。どこかで何か起こる。ボクは、学校に入って生き物とか全然わからなくて、「生き物レポート」っていう生き物とかを綴っただけの、紙にまとめたやつを20何枚か書きよったんよ。でも、どこにも出さんけん、自己満足の紙切れ。でも、自己満足だけでこれを済ませるのは嫌だなと思って、信頼できる先生に渡したんやな。そしたら、その先生が最近レポートコンテストみたいなことをしよる先生とつないでくれて、それでボク、来年「プレゼン甲子園」って大会に出ることになったんよ。そんなことだってある。それは、ボクがレポート書き始めてから2年くらいの、ほんまに最近のことです。結果はマジ出遅れているんです。ほんまに何のためにこれをやったんという日ももちろんあった。でも、いつか良い日も悪い日もあるけど、何かしら来る。頑張り。大丈夫です。（「頑張ります」）

**司会者(ak)** ありがとうございます。まだまだ発表はあると思いますが、このあたりで全体会午前の部を終了させていただきたいと思います。最後に、もう一度拍手をお願いします。



**司会者(bm)** さて、このあとは昼食・休憩と

なります。お弁当を注文された団体は、お弁当の引換を行いますので、代表の方は会議室入口へお越してください。なお基本的にお弁当はこの3階会議室となっておりますので、新型コロナ対策として、距離をとって静かにお食事ください。

**司会者(ak)** なお、午後の部の開始時刻は1時です。遅れないように、元の場所に集合してください。よろしくお願いいたします。それでは、いったん解散してください。

